

第128回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	別	段	預	金	受	取	手	形					
売	掛	金	前	払	金	仮	払	金		不	渡	手	形					
建		物	建	設	仮	勘	定	支	払	手	形	買	掛	金				
前	受	金	未	払	金	貸	倒	引	当	金		株	式	申	込	証	拠	金
資	本	金	資	本	準	備	金	仕			入		支	払	手	数	料	
貸	倒	損	失	売		上		受	取	手	数	料						

- 藤堂製菓株式会社は、建設中であった営業用店舗が完成したため、店舗の引渡しを受け、工事代金の残額 ¥ 1,000,000 のうち ¥ 600,000 と登記料 ¥ 50,000 については現金で支払い、残りの ¥ 400,000 については翌月末に支払うこととした。なお、この店舗の工事に対しては、工事代金の一部としてすでに ¥ 2,000,000 を前払いしている。
- 鍋島商事株式会社は、新株 200 株（1 株の払込金額：¥ 50,000）を発行し、払込期日までに申込証拠金の全額が払い込まれ、別段預金に預け入れていたが、本日が払込期日となるため、別段預金を当座預金に預け替えた。なお、資本金には会社法規定の原則額を組み入れることとする。
- 得意先石田商店が倒産し、同店に対する売掛金 ¥ 200,000 が回収不能となったため、貸倒れとして処理する。回収不能となった同店に対する売掛金のうち、¥ 120,000 については前期の販売から生じたもので、残額は当期の販売から生じたものである。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 150,000 である。
- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- 黒田商店から売掛金の決済のために受け取り、すでに細川銀行で割引きに付していた、同店振出し、当店宛の約束手形 ¥ 100,000 が満期日に支払拒絶されたため、同銀行より償還請求を受け、小切手を振り出して決済した。また、満期日後の延滞利息 ¥ 5,000 は現金で支払い、手形代金とともに黒田商店に対して支払請求した。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	建物	3,050,000	現金 未払金 建設仮勘定	650,000 400,000 2,000,000
2	株式申込証拠金 当座預金	10,000,000 10,000,000	資本金 別段預金	10,000,000 10,000,000
3	貸倒引当金 貸倒損失	120,000 80,000	売掛金	200,000
5	不渡手形	105,000	当座預金 現金	100,000 5,000